

保証書付

取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。
また、本書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。

User manual

For the English version of the instruction manual, please refer to the following URL : http://www.maxell.jp/en/consumer/assets/pdf/mxh-btcf150_manual_en.pdf



产品使用说明

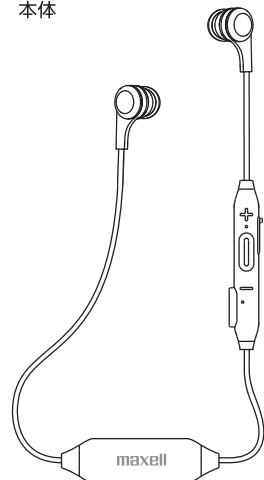
中文版使用说明书请参考以下 URL:

http://www.maxell.jp/cn/consumer/assets/pdf/mxh-btcf150_manual_cn.pdf

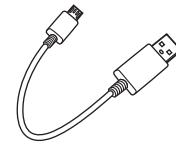


■梱包品の確認

本体

イヤーピース(S/M/L 各2個)
* Mは本体に装着

充電用ケーブル(約25cm)1本

取扱説明書
(本書)

1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、默示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、弊社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

危険

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことがあります、かつその切迫の度合いが高い危険の程度

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される危険の程度

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定される危害・損害の程度

*1: 重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが、やけど、感電などを指します。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかる拡大被害を指します。

| | | |
|-------|---|--|
| 絵表示の例 | △ | △記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。 |
| | ○ | ○記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。 |
| | ● | ●記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。 |

危険

電源はUSBポート以外からとらない

充電するときはパソコンなどのUSBポートまたはUSB変換ACアダプターを使用してください。USBの定格を超えた電源を使用すると、発熱、発火、故障、感電、ケガの原因となります。

もれた液にさわらない

本製品内部からもれた液体はさわらないでください。
また目に入ったときは、こすらずきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。失明の原因となります。

警告

「自動車」「自転車」「バイク」など運転中は使用しない

周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因となります。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

歩行中でも、周囲の音が聞こないと危険な場所(踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など)での使用は、思わぬ大きな事故の原因となります。

ワイヤレス機器の使用が禁止されている場所で使用しない

電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える場合があります。病院内や鉄道の優先席などワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。

乳幼児の手の届く所へ置かない

飲み込んだり、コードが首に絡まったりすると、窒息などの原因となります。万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

直射日光があたる場所や、異常に温度が高くなるところへ置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となります。
夏の閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

火の中に入れない

火中に投下したり、加熱したりしないでください。
発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。

水の中に入れない

水中で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

修理や改造、または分解しない

火災、感電、またはけがの原因となります。

異常時は電源を切る

煙が出た場合、変なにおいや音がする場合、水や異物が内部に入った場合、本製品を落とした場合は、すぐに電源スイッチを切ってください。また、USBより充電中はUSBプラグを抜いてください。
そのまま使用すると発熱、発火、故障、感電などの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止する

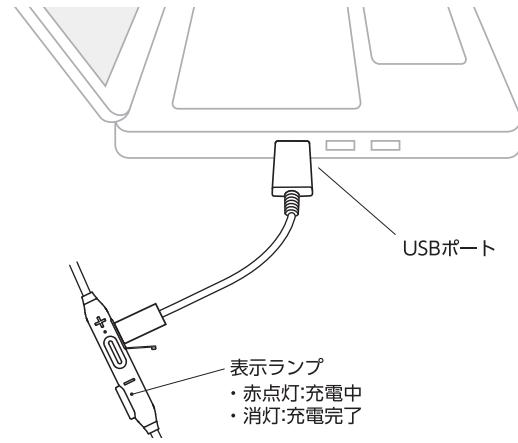
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。

4 準備する

<充電する>

本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。
購入後は充電してからご使用ください。

- 付属の充電用ケーブルを本体とお持ちのPCまたはUSB端子付ACアダプターのUSBポートに接続します。
- 本体の表示ランプが赤色となり充電を開始します。
- 表示ランプが消えれば充電完了です。(充電時間:約3時間)



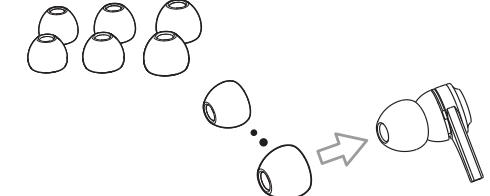
4. 充電用ケーブルを取り外します。

電池残量が少なくなった場合は、表示ランプが赤色の点滅(約5秒に1回)となります。すぐに充電してください。

※付属の充電用ケーブル以外は使用しないでください。
※充電用ケーブルは端子の向きをよく確認してから差し込んでください。
間違えると端子が破損するおそれがあります。
※USBポートは、USB規格に基づいた電源DC5Vをご使用ください。
※長期間使用しない場合でも、6ヶ月に1度は充電をおこなってください。
自己放電により完全放電し、充電できなくなる場合があります。
※リチウムイオン電池は消耗品です。使用とともに使用時間は短くなり
ます。極端に使用時間が短くなった場合は、電池の寿命です。

※充電中は操作できません。

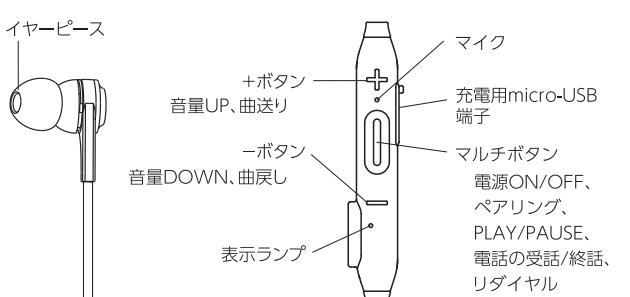
<イヤーピースを選ぶ>



お買い上げ時には、Mサイズのイヤーピースが装着されています。
Mサイズが耳に合わない場合は、付属のSサイズまたはLサイズに交換してください。

イヤーピースが合っていないと耳の穴を隙間なく密閉することができず、音漏れや低音が聴こえない原因となります。また音量が小さいと感じた場合は音漏れの可能性があります。

3 各部の名称と機能



5 使いかた

<ペアリングして接続する>

本製品を使用するためには、お使いのBluetooth機器とペアリングをする必要があります。一度ペアリングをおこなうと次回からはペアリングをせずに接続することができます。

- 電源がOFFの状態からマルチボタンを約8秒長押しします。
(約3秒で青色と赤色のランプが点灯し電源がONしますが、そのまま長押しを続けてください。)
- ペアリングモードになると表示ランプが赤色と青色交互に点滅します。
- お使いのBluetooth機器のBluetoothを有効にします。
※設定については、機器の取扱説明書をご確認ください。
- お使いのBluetooth機器に表示されるリストから“MXH-BTCF150”を選択します。
- ペアリングが完了すると表示ランプが青色にゆっくり点滅します。(約5秒に1回)

<2回目以降の接続>

- 電源がOFFの状態からマルチボタンを約3秒長押しします。
- 電源がONになると表示ランプが青色に点灯後、赤色ランプがゆっくり点滅します。
- お使いのBluetooth機器のBluetoothを有効にします。
- 自動的に接続します。¹
接続が完了すると、表示ランプが青色にゆっくり点滅します。(約5秒に1回)

*1：自動的に接続しない場合は、お使いのBluetooth機器で表示されるリストから“MXH-BTCF150”を選択してください。

ご注意

- ペアリングモードは約2分で終了し、その間にペアリングされないと自動的に電源OFFとなります。
- お使いのBluetooth機器によりパスワード²の入力を要求される場合があります。その場合“0000”を入力するとペアリングすることができます。
- 本製品はペアリングをおこなったBluetooth機器を8台まで記憶できます。9台以上ペアリングをおこなうと、最初に記憶されたBluetooth機器の情報が消去され、新たにペアリングをおこなった機器が記憶されます。機器の情報が消去されたBluetooth機器を使う場合は、再度ペアリングをおこなってください。

*2：パスワードは、パスコード、パスキー、PINコードなどと呼ばれる場合があります。

<各機能の操作方法と動作>

■共通機能

| 機能 | 操作 | 表示ランプ |
|----------|---|-------------------|
| 電源 ON | マルチボタンを約3秒長押しします | 青色に点灯後、赤色でゆっくり点滅 |
| 電源 OFF | マルチボタンを約3秒長押しします | 赤色に点灯後、消灯 |
| スタンバイモード | 電源をONにするとスタンバイモードになります | 赤色でゆっくり点滅(約5秒に1回) |
| ペアリングモード | 電源 OFFの状態でマルチボタンを約8秒長押しします | 青色、赤色交互に点滅 |
| ペアリング完了 | お使いのBluetooth機器から本製品をペアリングします <ペアリングして接続する>をご覧ください | 青色でゆっくり点滅(約5秒に1回) |
| 接続 | ペアリングが完了しているお使いのBluetooth機器のBluetoothが有効になっていると自動的に接続します ³ | 青色でゆっくり点滅(約5秒に1回) |
| 接続解除 | お使いの機器から本製品の接続を解除します(またはBluetoothを無効にします) | 赤色でゆっくり点滅(約5秒に1回) |

*3 自動的に接続しない場合は、お使いのBluetooth機器で表示されるリストから“MXH-BTCF150”を選択してください。

ご注意

Bluetooth接続していない状態で約2分経過すると自動的に電源がOFFになります。

■音楽再生

| 機能 | 操作 |
|--------------------------------------|---------------------------|
| PLAY / PAUSE | マルチボタンを押して、再生と一時停止を切り替えます |
| 音量 UP | +ボタンを押します |
| 音量 DOWN | -ボタンを押します |
| 曲送り (次の曲に進みます) | +ボタンを約1秒長押しします |
| 曲戻し (再生中の曲の先頭に戻ります ⁴) | -ボタンを約1秒長押しします |

*4：曲の先頭近くで操作すると前の曲に戻ります。

ご注意

・お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

■ハンズフリー通話

| 機能 | 操作 |
|---------|------------------|
| 受話 | 着信時にマルチボタンを押します |
| 終話 | 通話中にマルチボタンを押します |
| | 通話相手が通話を切れます |
| リダイヤル | マルチボタンを2回連続押しします |
| 音量 UP | +ボタンを押します |
| 音量 DOWN | -ボタンを押します |

ご注意

・お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

■マルチポイント機能

2台の携帯電話を同時に待ち受け状態にすると、どちらの電話が受信しても本製品で電話を受けることができる機能です。

<設定方法>

- 1台目の携帯電話と本製品をペアリングします。
5 使い方 <ペアリングして接続する> を参照
- 1台目の携帯電話のBluetooth機能をOFFにします。
- 2台目の携帯電話と本製品をペアリングします。
- 1台目の携帯電話のBluetooth機能をONにすると2台の携帯電話が同時待ち受け状態となります。

<使い方>

受話：着信時にマルチボタンを押します

終話：通話中にマルチボタンを押します

割込受話：1台目で通話中に2台目が着信した場合、マルチボタンを2回連続押しすると1台目は通話保留となり、2台目の電話を受話します。

割込終話：2台目通話中にマルチボタンを押すと2台目は終話し、1台目の通話に戻ります。

ご注意

・お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

6 困ったときは

| | |
|-----------|--|
| 電源が入らない | ・マルチボタンを約3秒長押ししてください ・充電してください |
| 音が出ない | ・Bluetoothのペアリング、接続をおこなってください ・Bluetooth機器がA2DPに対応しているか確認してください ・Bluetooth機器が再生しているか確認してください ・Bluetooth機器の音量をゆっくり上げてください |
| 音がひびむ、とぎれ | ・Bluetooth機器と本機の音量を下げてください ・Bluetooth機器のバスブーストなどの機能をOFFにしてください ・Bluetooth機器と本機の間の障害物を取り除いてください ・Bluetooth機器と本機を近づけてください ・無線機や電子レンジなどを離してください |

| | |
|-------------|---|
| 電話の音声が聞こえない | ・マルチボタンを押して受話してください ・Bluetooth機器がHFPまたはHSPに対応しているか確認してください |
| 充電できない | ・充電用ケーブルを根元まで差し込んでください |

7 仕様

| | | |
|---------|----------|---|
| 一般仕様 | 型式 | 密閉ダイナミック型 |
| | 使用ユニット | 直径9mm |
| | 再生周波数帯域 | 20～20,000Hz |
| | 電源 | 内蔵充電式リチウムイオン電池 |
| | 使用時間 | 連続再生：約7時間、連続待受：約170時間 |
| | 充電時間 | 約3時間 |
| | 質量 | 約14g(リモコン、コード含む) |
| ワイヤレス仕様 | 同梱品 | イヤホン(左/右各1個) *Mは本体に装着 充電用ケーブル(USB-A→USB Micro-B 約25cm) 1本、取扱説明書(保証書付) |
| | 通信方式 | Bluetooth® Version 4.1 |
| | 通信距離 | 最大10m |
| | プロファイル | A2DP、AVRCP、HFP、HSP |
| | コーデック | SBC |
| | コンテンツ保護 | SCMS-T |
| | マルチポイント | 最大2台 |
| | マルチペアリング | 最大8台 |

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。使用時間および充電時間は当社試験結果に基づく目安です。ご使用環境により異なります。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Maxell Asia, Ltd.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

8 本機を廃棄する

△ 注意 日本国での充電式電池の廃棄について



機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。
この充電式電池の取り外しはお客様自身ではおこなわず、当社「お客様ご相談センター」にご相談ください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人 JBRCホームページを参照してください。

9 保証とアフターサービス

■保証書について

保証書は必ずお買い上げ時のレシートと共に大切に保管してください。

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

マクセル株式会社

〒151-8527

東京都渋谷区代々木町30-13

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル)

FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

<http://www.maxell.co.jp>

お客様ご相談センター

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル)

FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

マクセルお問い合わせ 検索